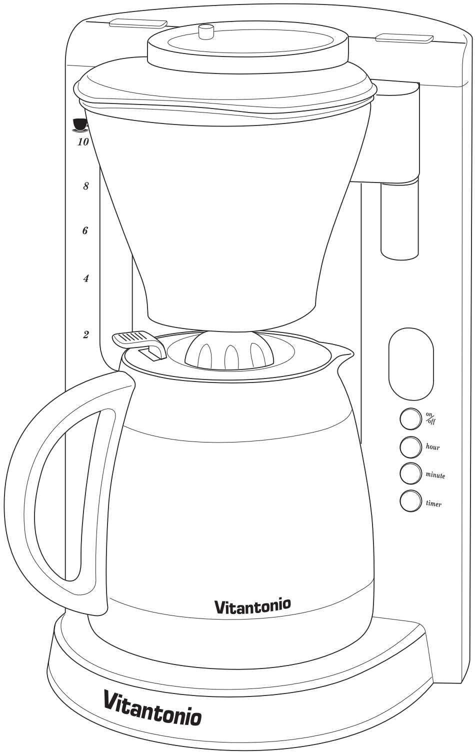
Vitantonio®

取扱説明書

家庭用

保証書付き



Vitantonio Coffee Maker
ビタントニオ　コーヒーメーカー

VCD-10-W

ご使用前に必ずお読みください。

このたびはビタントニオ　コーヒーメーカーをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。正しくご使用していただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みください。なお、この取扱説明書には保証書が付いています。
お読みになった後も大切に保管してください。

もくじ

本製品は日本国内専用に設計されていますので、国外での使用はできません。
FOR USE IN JAPAN ONLY

発売元／株式会社 mh エンタープライズ
輸入元／株式会社三栄コーポレーション

安全上のご注意 必ずお守りください。

●ご使用になる前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、必ずお守りください。
●人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを、説明しています。
■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分して、説明しています

⚠ 警告	死亡や重傷を負うおそれがある内容です。	⚠ 注意	軽傷を負うことや、物的損害が発生するおそれのある内容です。

●物的損害＊とは、家屋、家財および家畜、ペットにかかわる拡大損害を示します。
■お守りいただく内容を、次の図記号で示しています

🛇	してはいけない「禁止」内容です。	❗	実行しなければならない「強制」内容です。

※お読みになられた後は、必ずいつでも見られる所に保管ください。

⚠ 警告

🛇	■絶対に自分で分解、修理、改造をしない。	火災・感電・発火の原因 修理は販売店または当社「修理ご相談窓口」にご相談ください。
	■本体を水につけたり、水をかけたりしない。	ショート・感電の原因
	■火気の近くでは使用しない。	故障・火災の原因
	■お子様など、取り扱いに不慣れな方だけで使わせない。乳幼児の手の届く所で使わない。	感電・けがの原因
	■保温ポットを取り付けたまま本体を運ばない。	やけどの原因
	■濡れた手で電源プラグの抜き差しをしない。	ショート・感電の原因
	■使用中や使用直後は抽出口や蒸気口に手を触れない。	やけどの原因
	■水以外のものはいれない。	牛乳やお茶、酒、ティーバッグ、インスタント食品などを入れて使うと、吹きこぼれややけど、焦げ付きや腐食、故障の原因。

安全上のご注意 必ずお守りください。

⚠ 警告

🛇	■電源コードや電源プラグを破損するようなことはしない。傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物をのせたり、束ねたり、挟み込んだりしない。	感電・ショートによる発火・火災の原因
	■電源コードが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。	感電・ショートによる発火・火災の原因
❗	■ 15A 以上のコンセントを単独で使用する。	他の器具と併用した分岐コンセントは異常発熱して発火・火災の原因
	■必ず付属の保温ポットを取り付けて使用する。	やけどの原因
	■電源プラグは根元まで確実に差し込む。	感電・火災の原因
	■部品の取り付け・取り外しやお手入れをするときは電源プラグを抜く。	感電・火災の原因
	■運転を停止してから、電源プラグを抜き差しする。	感電・火災の原因
	■電源プラグのほこりなどは、定期的に取る。	特に刃の部分にほこりがたまると、湿気などで、絶縁不良になり火災の原因。 電源プラグを抜き、乾いた布でふく
	■異常・故障時には直ちに使用を中止し、電源プラグを抜く。	発煙・発火、感電のおそれあり
	異常・故障例 電源プラグ・コードが異常に熱くなる。 電源コードに傷が付いたり、通電したりしなかったりする。 本体が変形したり、異常に熱くなる。	すぐにお買い上げの販売店、または当社「修理ご相談窓口」へ点検・修理をご相談ください。

安全上のご注意 必ずお守りください。

⚠注意

🚫	**■不安定な場所や熱に弱い敷物の上で使わない。**	故障・火災・やけどの原因
	■壁や家具の近くでは使わない。	蒸気や熱で家具や壁を傷め、変色・変形の原因
	■抽出してすぐの連続使用はしない。	蒸気によるやけどの原因
	■保温ポットは直接火にかけたり、電子レンジに使用しない。	火災、故障の原因
	■抽出中は保温ポットを外さない。	やけどの原因
	■水タンクが空の状態で使わない。	故障・火災の原因
	■付属している専用部品以外は使用しない。	やけど・故障の原因
	■一般家庭用以外で使用しない。	故障の原因
❗	**■電源プラグを抜くときは、コードを持たずに必ず電源プラグを持つ。**	感電・ショートによる発火の原因
	■使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜く。	感電・火災の原因
	■運転を停止してから、電源プラグを抜き差しする。	けが・故障の原因
	■お手入れは本体が冷えてから行う。	やけどの原因

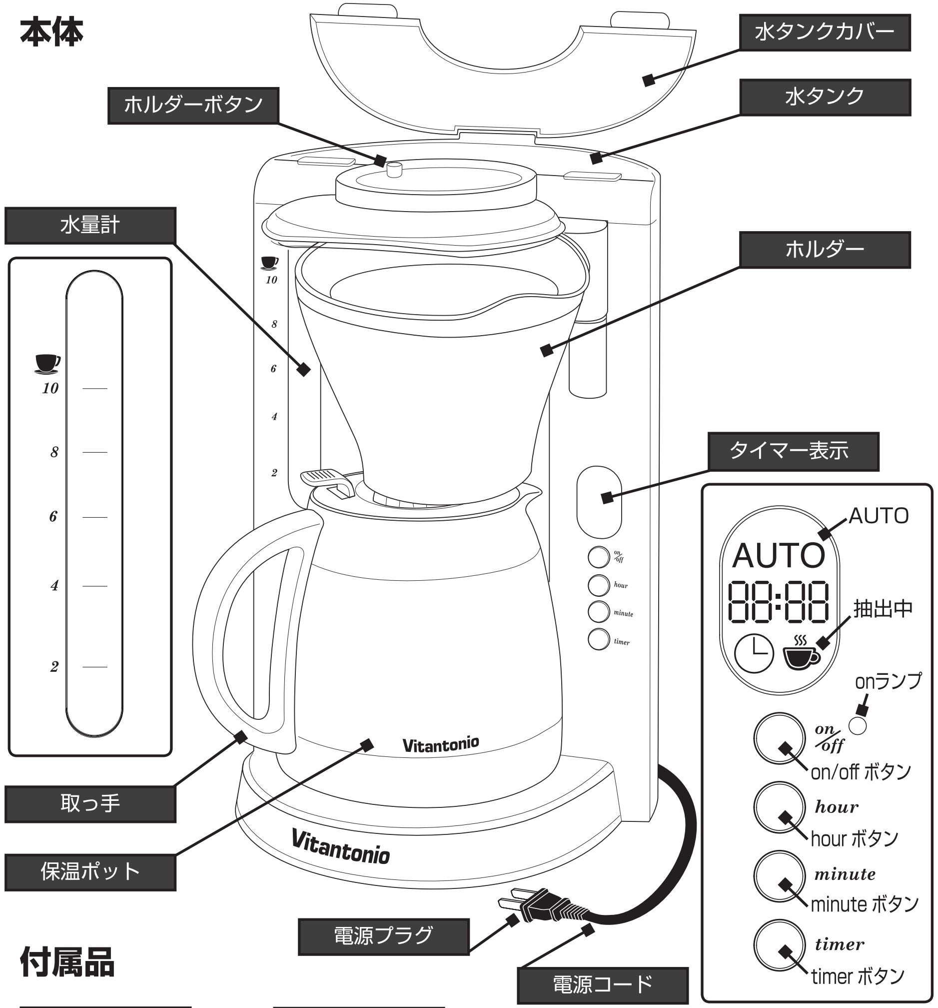
安全上のご注意 必ずお守りください。

知っておいていただきたいこと

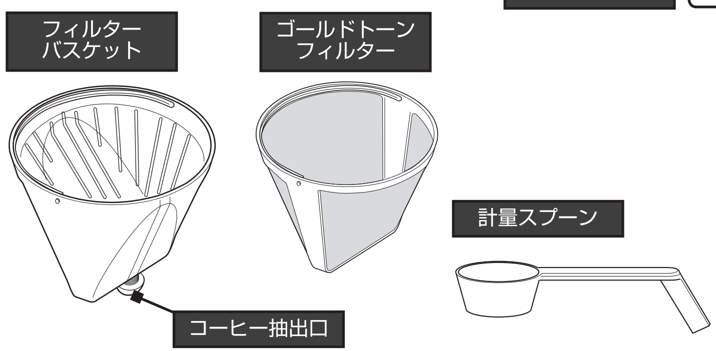
■水タンク内の水滴、水滴跡に関して	本製品は厳重な品質管理のもとに出荷しております。このため出荷検査時に使用した水が水滴となってタンク内やカバーに残っていたり、水滴が乾燥して白い跡になって残っている場合があります。 白く乾燥した跡は水分中に含まれているミネラル分ですので、ご安心ください。 なお、お使いになる前には取扱説明書6ページの「お使いになる前に」の内容に従い、2～3回水で内部の洗浄（湯通し）をしてからご使用ください。
■においについて	使い始めのうちは樹脂などのにおいがすることがありますが、ご使用とともに少なくなります。
■ミネラルウォーターやアルカリイオン水を使用した場合	本体内部にカルシウム分が付着しやすくなります。 11ページの「お手入れのしかた」を参照し、こまめにお手入れをすることを心掛けてください。
■保温ポットについて	この保温ポットはビタントニオ　コーヒーメーカー VCD-10-W専用コーヒーポットです。
■保温の目安	1時間後：約82℃ ※上記保温の温度は室温21℃で、1350mlを抽出した場合の当社データです。温度は室温などの条件により異なります。 ※コーヒーの抽出量が少ない時は保温ポットなどに熱が吸収される為、温度も低下しやすくなります。

各部のなまえ

本体



付属品



お使いになる前に

本製品をはじめてお使いになる場合は以下の内容を行ってから、お使い下さい。

内部の洗浄（湯通し）
お使いになる前に、生産過程で残ったほこりや残留物を取り除く為にコーヒー粉を使用せずに、水のみを通して内部の洗浄（湯通し）を行います。

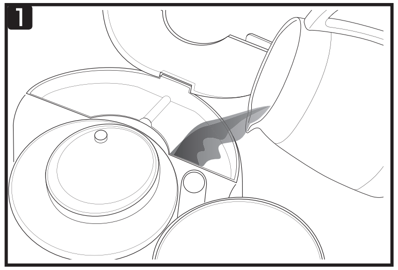
1. **付属品を全て水洗いする。**
2. **水気を拭き取って本体にセットする。**
3. **水タンクに水を水量計の目盛り 8cup（約 1000ml）まで注ぎ、水タンクカバーを閉じる。**
   ※水タンクには最大 10 カップ（約 1350ml）の水が注げます。
4. **電源プラグをコンセントに差し込む。**
   時刻が表示されますが、湯通しの際には時刻は合わせる必要はありません。
   時刻を合わせたい場合は、9 ページの「時刻（時計）の合わせ方」をご参照ください。
5. **点滅終了後 on/off ボタンを 2 回押す。**
   on ランプ（赤）が点灯し、☕ マークがディスプレイに表示されます。抽出が終了すると on ランプ（赤）が消えます。
   ※抽出をキャンセルするときは on ランプが点灯時に on/off ボタン 1 回押してください。
   ※ on ランプ（赤）が消えてから保温ポットを本体から外してください。
   ※ご使用後は電源プラグをコンセントから抜いて下さい。
   ※コンセントを入れてすぐに on/off ボタンを押しても on ランプはつきません。
   　ディスプレイ表示の点滅終了後に押してください。
6. **抽出が終了したら保温ポットのお湯を捨て、本体が冷めるまで待つ（10 分程度）。**
7. **もう一度水を目盛り 8cup（約 1000ml）まで注ぎ、湯通しをする。**

⚠ 注意

🚫	**■ 10 カップ（約 1350ml）以上の水を注がない。**	本体から水があふれ、故障の原因
	■長期間使用されないときは、水タンクに水を入れたまま放置しない。	水が腐敗し、故障の原因
	■抽出してすぐの連続運転は行わない。	やけどの原因

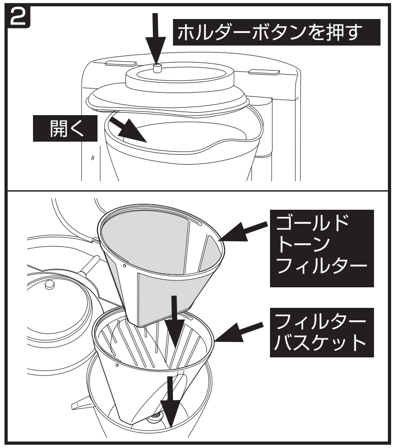
■基本手順

1 水タンクに抽出カップ分の水を注ぎ、水タンクカバーを閉じる。



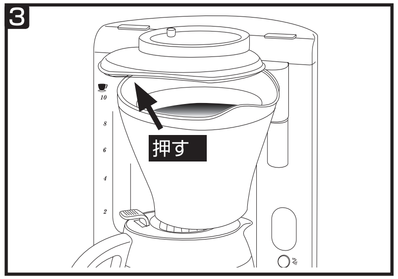
2 ホルダーボタンを押し、フィルターバスケットにゴールドトーンフィルター又は市販のペーパーフィルターをセットする。

■ホルダーは、ホルダーボタンを押すと、自動的に開きます。



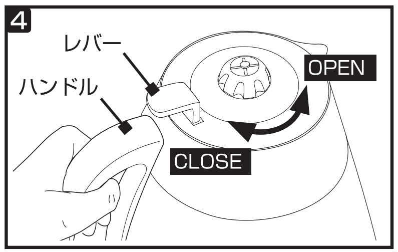
3 コーヒー粉を入れ、ホルダーをしっかりと閉じる。

■ホルダーを閉める時は、元の位置に戻すように手動で押してください。



4 保温ポットにふたをし、本体にセットする。

■保温ポットのふたは、保温ポットのレバーに軽く指をかけ、反時計回りに回して開けます。閉める時は、レバーがハンドルの位置にくるまで、時計回りに回します。

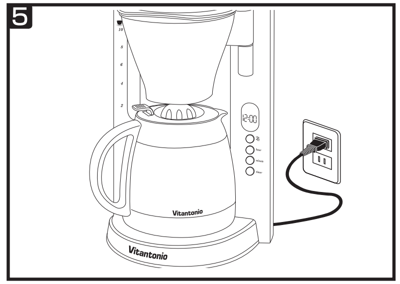


⚠ 注意

■保温ポットのふたの開け閉め時、レバーを強く押したり､引っぱったりしないでください。
（破損の原因）
■保温ポットのふたは、レバーがハンドルの位置にくるまでしっかり閉めてください。
（やけどの原因）

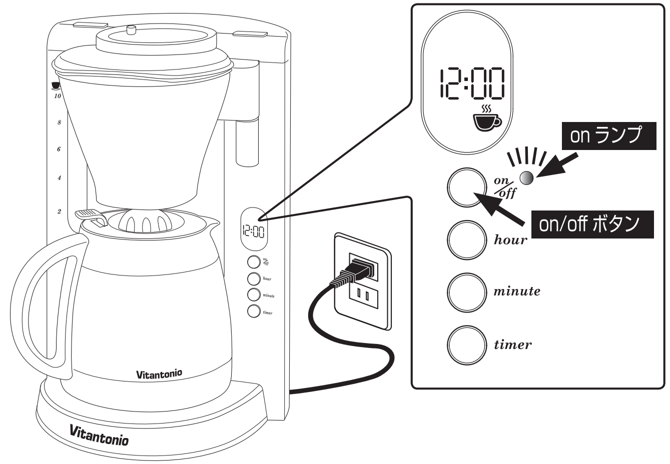
5 電源プラグをコンセントに差し込む。

時刻が表示されますが、手動での抽出は時刻を合わせる必要はありません。
時刻を合わせたい場合は、９ページの「時刻（時計）の合わせ方」をご参照ください。



6 点滅終了後 on/off ボタンを２回押す。

on ランプ（赤）が点灯し、☕マークがディスプレイに表示されます。抽出が終了すると on ランプ（赤）が消えます。
※抽出をキャンセルするときは on ランプが点灯時に on/off ボタン１回押してください。
※ on ランプ（赤）が消えてから保温ポットを本体から外してください。
※ご使用後は電源プラグをコンセントから抜いて下さい。
※コンセントを入れてすぐに on/off ボタンを押しても on ランプはつきません。
ディスプレイ表示の点滅終了後に押してください。



コーヒー粉と水の目安

- ●水量計の目盛りは１カップ約 135ml となっております。
- ●付属の軽量スプーンはすりきりで約 7g のコーヒー粉が入ります。
（豆の種類、焙煎の度合いなどにより重さは異なります）
- ● ２カップのコーヒーを抽出するときは、コーヒー粉を多めに入れてください。
※コーヒーの濃さはお客様のお好みによって異なりますので、コーヒー粉の分量は適宜ご調節下さい。

⚠ 警告

■使用中や使用直後は抽出口や蒸気口など高温部には触れない。
（やけどの原因）
■付属の計量スプーンで 10 杯（約 70g）より多くのコーヒー粉を入れない。
（粉が本体から溢れたり、お湯がフィルターバスケット内にたまって故障・やけどの原因）

使い方（Timer（予約抽出）の設定）

※このコーヒーメーカーでは、予約した時間にコーヒーの抽出ができます。
この機能を使用するには、「時刻」の設定が必要です。

【時刻（時計）の合わせ方】

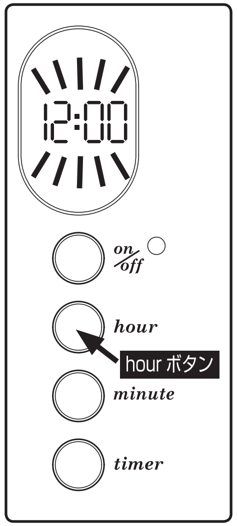
時刻の設定

電源プラグをコンセントに差し込むと、
12：00 が表示される。

● hour(時間) の設定

hour ボタンを押し、数字を点滅させる。
数字が点滅したら hour ボタンを押し続け、
時刻（時）を設定する。

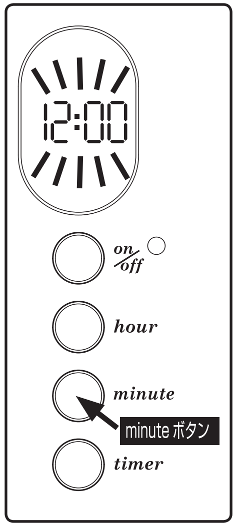
※２秒以上放置させると点滅は止まります。
数字が点滅していない場合は再度 hour ボタンを押してください。



● minute（分）の設定

minute ボタンを押し、数字を点滅させる。
数字が点滅したら minute ボタンを押し続け、
時刻（分）を設定する。

※２秒以上放置させると点滅は止まります。
数字が点滅していない場合は再度 minute ボタンを押してください。



※ Timer を設定していても、on/off ボタンを２回押すと予約が解除されます。
※電源プラグをコンセントから抜かない限り、時計・設定された Timer 時刻は記憶されています。翌日も同じ Timer 設定を使用したい場合は on/off ボタンを一回押して AUTO 設定にして下さい。

使い方 9

使い方（Timer（予約抽出）の設定）

【Timer(予約抽出) の設定の仕方】

1 Timer ボタンを押し、Timer 時刻を設定する。
※以前に使用した設定が継続されているときは、
以前設定した時刻が表示されます。

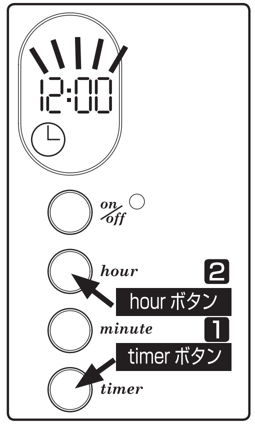
2 hour(時間) の設定
hour ボタンを押し続け、時刻 (時) を設定します。
※４秒以上放置させると点滅は止まります。
数字が点滅していない場合は再度 Timer ボタンを押してください。

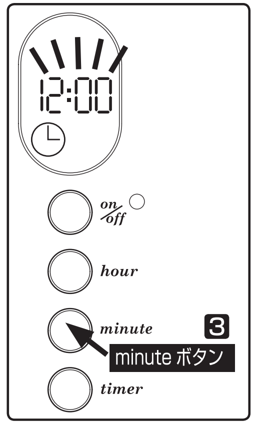
3 minute（分）の設定
minute ボタンを押し続け、時刻 (分) を設定します。
※４秒以上放置させると点滅は止まります。
数字が点滅していない場合は再度 Timer ボタンを押してください。

Timer 時刻を設定して Timer ボタンを押すと点滅が止まり、Timer 時刻設定が完了となります。
※約４秒以上放置すると点滅がとまり、Timer 時刻が設定されます。
※点滅終了後に表示される時刻は現在時刻となります。

4 on/off ボタンを１回押して Timer を設定します。
Timer をセットすると on ランプが点灯し、
AUTO がディスプレイに表示されます。

※ Timer をキャンセルしたい場合 on/off ボタンを２回押してください。
※ AUTO と同時に表示される時刻は、現在時刻です。
設定した Timer の時間ではありません。Timer 時刻を確認したいときは、Timer ボタンを押してご確認ください。
※予約抽出の設定をした時は、on/off ボタンを押して現在の時刻と Timer 時刻をご確認ください。







10 使い方

お手入れのしかた

⚠警告	●本体の水洗いは絶対にしない。	ショート・感電の原因

⚠注意	●食器洗浄機や食器乾燥機、熱湯などは使わない。 ●シンナー類、クレンザー漂白剤、化学ぞうきん、金属たわし、ナイロンたわしなどは使わない。 ●ゴールドトーンフィルターはブラシでこすらない。また、酸性、アルカリ性の液に浸さない。	故障の原因
	●電源プラグを抜き、冷めてからお手入れをする。	やけどの原因

本体	本体の内側は柔らかな乾いた布で拭き取って下さい。本体外側の汚れが気になるときは、台所用中性洗剤を薄めたぬるま湯を柔らかい布に含ませ、固く絞ってふき取ってください。
付属品 （ゴールドトーンフィルター、フィルターバスケット、スプーン）	●台所用中性洗剤を薄めたぬるま湯を、柔らかなスポンジに含ませて洗い、水ですすぎます。柔らかな乾いた布で水気を拭き取り乾かします。 ●ゴールドトーンフィルターはコーヒーに含まれている油分がメッシュに付着したままだと目詰まりを起こし、コーヒーの抽出が遅くなることがあります。その場合は、台所用中性洗剤を薄めた湯にしばらく浸けた後、柔らかいスポンジで洗い、よく水ですすぎます。 ●抽出後、そのまま放置しておかない。ゴールドトーンフィルターの目詰まり、故障や変色・においの原因になります。

コーヒーの抽出が悪くなったとき

水タンク内のパイプに水アカや水分中の鉱物成分が付着して、コーヒーの抽出が悪くなってくることがあります。下記の方法で水アカを取り除いて下さい。

1. **水タンクに約 1000ml の水と小さじ 1 杯のクエン酸を入れます。**
2. **フィルターバスケットをセットします。**（ゴールドトーンフィルター・コーヒー粉は使用しません）
3. **on/off ボタンを 2 回押し、お湯を抽出させます。**
4. **抽出が終了したら、保温ポットのお湯を捨てます。**
5. **抽出後 10 分以上経過してから、本手順を2～3回繰り返します。**

⚠注意		
🛇	■抽出してすぐの連続運転は行わない。	やけどの原因

故障かな

こんなとき	原　因	対処の仕方
on/off ボタンを押しても on ランプ（赤）が点かない。	電源プラグがコンセントから抜けていませんか？	電源プラグをコンセントに差し込んで下さい。
予約した時間にコーヒーが抽出しない。	予約時間が正しくセットされていない可能性があります。	時計を正しい時刻に合わせて下さい。
保温ポットからコーヒーが溢れる。	水タンクに規定量以上の水を入れていませんか？	水タンクの最大容量は 1350ml です。
	保温ポットは空でしたか？	保温ポットを空にしてからセットしてください。
	フィルターが目詰まりしていませんか？	11 ページの「お手入れのしかた」の付属品を参照しながらお手入れをしてください。
抽出時間がいつもより長くかかる。	湯あかが付着している可能性があります。	11 ページの「お手入れのしかた」を参照して本体をお手入れしてください。
	コーヒー粉を入れすぎていませんか？	フィルターには 70g 以上のコーヒー粉を入れないで下さい。
コーヒーがぬるい。	抽出後、時間がたつとともにコーヒーの温度が下がります。少量のコーヒーは早く冷めます。寒い時期は保温ポットが冷えており、コーヒーの温度が下がりやすくなります。	

保証とアフターサービス

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談はまず、お買い上げの販売店へお申し付けください。

転居や贈答品などでお困りの場合は…

- ●修理は、「サービスセンター」へ
- ●使いかた・部品・保証などのお問い合わせは、「お客様相談室」へ

保証書 (裏表紙をご覧ください)

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受取りください。よくお読みのあと保存してください。

保証期間：お買い上げ日から　本体　1年間（付属品除く）

補修用性能部品の保有期間

このビタントニオ　コーヒーメーカーの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後５年です。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるとき

●保証期間中は

お買い求めになってから１年間は保証書記載の内容に基づき無料修理いたします。お買上げの販売店、または当社へ保証書をご提示のうえ、ご依頼ください。

●保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご要望により修理させていただきます。下記修理料金の仕組みをご参照のうえ、ご相談ください。

基本料金	診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
商品代金	修理に使用した部品および補助材料代です。

ご連絡いただきたい内容	
品名	ビタントニオ　コーヒーメーカー
品番	VCD-10-W
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に

お客様相談窓口のご案内

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は、まずお買い求めの販売店へお申し付けください。

転居や贈答品などでお困りの場合は、製品名・品番をご確認のうえ下記窓口へ

お客様ご相談窓口

株式会社 mh エンタープライズ・サービスセンター

フリーダイヤル **0120-779-702**

〒 338-0837　埼玉県さいたま市桜区田島 9-22-8

受付時間　月～金　午前９時～午後５時

（土・日・祝祭日・年末年始などの長期連休をのぞく）

ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱い
株式会社 mh エンタープライズは、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、個人情報を適切に管理し、修理業務などを委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

無料修理規定／仕様

1. 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書きに従った正常な使用状態で故障した場合には、当社が無料修理させていただきます。
2. 無料修理をご依頼になる場合には、商品と本書をご持参ご提示のうえ、お買上げの販売店にご依頼ください。
3. ご転居の場合には事前にお買上げの販売店、又は当社サービスセンターへご相談ください。
4. ご贈答品等で本保証書に記入してあるお買上げ販売店に修理がご依頼できない場合には、当社サービスセンターへご相談ください。
5. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
   - (イ) 使用上の誤り及び不当な修理や分解・改造等による故障及び損傷。
   - (ロ) お買上げ後の落下等による故障及び損傷。
   - (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障及び損傷。
   - (ニ) 一般家庭用以外 (例えば、業務用・店舗等での使用、事務所・研究室等での使用、車両、船舶への搭載) に使用された場合の故障及び損傷。
   - (ホ) 本書の提示がない場合。
   - (ヘ) 本書にお買上げ年月日、お客様名、販売店印の記入のない場合、或いは字句を書き替えられた場合。
   - (ト) 取扱説明書に記載されていない方法で使用した場合の故障及び損傷。
   - (チ) ご使用後のお手入れを怠ったことによる故障及び損傷。
   - (リ) 消耗部品は無料修理の適用除外となります。
6. 本書は日本国内においてのみ有効です。
7. 本書は再発行致しませんので大切に保管してください。

修理メモ

※お客様にご記入いただきました保証書記載の個人情報 (お名前、ご住所、電話番号) は保証期間内のサービス活動、及びその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。
※この保証書は、本書に明示した期間、及び条件により無料修理をお約束するものです。保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買上げの販売店又は当社サービスセンターにお問い合わせください。なお、この保証書によって、保証書を発行している者、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
※保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について、詳しくは取扱説明書をご覧ください。
※ This warranty is valid only in Japan.

仕　様

品番　VCD-10-W
品名　ビタントニオ　コーヒーメーカー

電源	AC100V　50Hz/60Hz
消費電力	1000W
重量	約 2.5kg（全体）
最大容量	1350ml(水タンク)
外形寸法	約 220 mm（幅） x 250mm（奥行） x 352mm (高さ)
コードの長さ	約 1.5m（有効長）
原産国	中国

発売元／株式会社 mh エンタープライズ
〒 111-8682　東京都台東区寿４丁目１番２号
TEL 03 - 6758 - 2074
受付時間：9:00 ～ 12:00　13:00 ～ 17:00（土日・祝日除く）
輸入元／株式会社三栄コーポレーション

愛情点検

長年ご使用のビタントニオ　コーヒーメーカーの点検を！

こんな症状はありませんか

- ●電源プラグをコンセントに差し込んでも動かない。
- ●電源コードを折り曲げると通電したり、しなかったりする。
- ●その他の異常がある。

使用中止

電源プラグを抜き、故障や事故防止のため、販売店、または当社まで点検・修理をご相談ください。

ビタントニオの製品情報はホームページからご覧いただけます。

www.vitantonio.jp

BA-VCD10W-05-1601-WB